

# MAJESTIC

## WOODBURNING FIREPLACE

### ユーザーマニュアル

MODEL SA36C/42C  
SA36R/42R



本製品をご使用になる前に、必ず取扱説明書をお読みください。いつでも読めるように、取扱説明書はお手元に保管してください。

  
HEARTH & HOME  
technologies®  
The Hearth Experts™

---

## はじめに

ハース & ホーム テクノロジーズ社 (HHT 社) マジェスティック薪暖炉をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。マジェスティックの薪暖炉は、安全にご使用いただけるように設計されています。

薪暖炉のオーナーとして、この取扱説明書をよくお読みいただき、とくに注意と警告と書かれた項目には注意を払う必要があります。

この取扱説明書をお手元に保管するようにお願いします。

## 目次

はじめに	P 2
安全と操作に関する重要な情報	P 3
操作部の概要	P 5
燃料	P 7
初めての着火 / 着火の手引き	P 9
メンテナンス	P 11
トラブルシューティング	P 12

## 安全警告

- 危険・ ・もし避けなければ、死亡または重大な怪我に終わる危険な状況を示します。
- 警告・ ・もし避けなければ、死亡または重大な怪我につながる可能性がある危険な状況を示します。
- 注意・ ・もし避けなければ、軽微な怪我につながる可能性がある危険な状況を示します。
- 通告・ ・暖炉または財産 ( 所有物 ) に損傷を引き起こす可能性がある危険な状況を示します。

## Ⅰ 安全と操作に関する重要な情報

### 暖炉の安全

事故は不適切な取り付けと操作によって引き起こされます。安全に使用するため、以下の条項を必ず守ってください。

- 暖炉の使用中は、火災が発生しないように監視が必要です。
- 暖炉本体及び煙突は、1年1回以上の点検が必要です。
- 安全の確保のため、住宅の各階に少なくとも1個の煙探知機を設置してください。
- 安全の確保のため、暖炉の近くに消火器を設置してください。
- 煙突火災が発生した時のため、避難計画を避難計画を作成してください。

### 警告！

HHT社は火災に対するいかなる責任も否認し、その保証と仲介権は以下の行為によって無効になります。

### 禁止している行為

- 破損した暖炉の操作
- 暖炉の改造
- オーバーファイア
- 改造を施したもの
- 部品リストに記載のないまたは承認されていない部品の取り付け
- 全部品が完全に組み立てられていない暖炉の操作

不適切な取り付け、調整、改造、アフターサービスまたは整備は暖炉の損傷や所有者への損害を引き起こすことがあります。

### 1. 十分な空きスペース

可燃物を暖炉の前に置かないでください。カーテンや椅子などの家具用品または可燃物は、少なくとも1.2m以上暖炉の前面から離れていなければなりません。

可燃物とは次の材料のいずれかでできているかまたはそれらの材料がその表面に使用されているものです：

－木      －圧縮紙      －植物繊維  
－プラスチック      －合板      －ドライウォール

耐火性の如何を問わず、また漆喰塗装品であってもなくても、発火して燃える可能性のあるすべての材料

非可燃物とは、以下のものの組み合わせでできている、発火して燃えることのない材料のことです：

－スチール（鋼鉄）      －鉄      －レンガ  
－タイル      －コンクリート      －スレート  
－ガラス      －石膏

### 警告！

可燃物、ガソリン及び可燃性ガスと液体を暖炉の近くに置かないでください。

### 禁止している行為

- 可燃物を暖炉の近くにおくこと
- 暖炉の中の着火または清掃のために、ガソリン、灯油、木炭着火オイルまたは同様な液体を使用すること

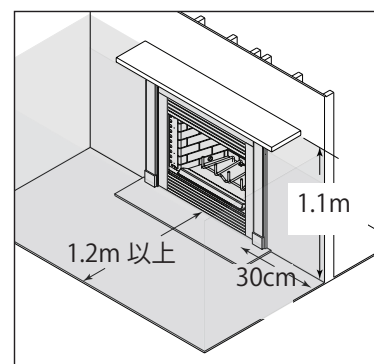


図 1

## 2. グレート

暖炉は出荷時に供給されるグレートまたは HHT の承認済みのグレートと一緒に使用されるように設計されています。

### 警告！

工場から供給された組み込みのグレートだけを使用してください。

- ログを所定の場所に入れてください。
- 火の回りの空気循環を妨げないようにしてください。

## 3. 耐熱レンガ

蓄熱と魅力的な外観の提供のために、耐熱レンガが取り付けられています。数年の使用で交換が必要になります。僅かなひびや変色は通常のことです、安全に影響することはありません。

### 警告！

耐熱レンガを取り付けずに暖炉を焚かないでください。耐熱レンガは純正品のみを使用してください。

## 4. ファイヤースクリーン

火の粉が外に飛ばないように、使用中の暖炉を囲ってください。

### 警告！

- スクリーンは燃焼物の外側への落下を防ぐものではありません。
- スクリーンの取っ手またはハンドルは熱くなっていることがあります。

## 5. フルーダンパー

暖炉の操作中、フルーダンパーは全開の位置にしておかねばなりません。

### 警告！

暖炉の操作に先立ってダンパーを開いてください。ダンパーが閉じていると、暖炉の炎の過剰燃焼が起こり、煙と炎が室内にこぼれ出します。

## 6. ガラスドア

ガラスドアはオプションです。

### 警告！

純正のガラスドアだけを取り付けてください。

ドアの付いた暖炉はドアを全開にするかまたは完全に閉じた状態で操作します。もしドアが部分的に開いていれば、ガスと炎が暖炉の開口部から外へ引き出される可能性があります。

## 7. 暖炉の炎の上部燃焼

### 警告！

炎の上部燃焼はコールタールのクレオソートに点火する可能性がありあるいは暖炉と煙突に損害を与えます。

暖炉の炎の上部燃焼を防ぐために次のことをやらないでください：

- 可燃性液体の使用
- 薪のくべすぎ
- ゴミまたは大量の板切れを燃やすこと
- 炎への空気の過剰供給

以下の1つまたはそれ以上の現象があると、炎の上部燃焼の兆候である可能性があります：

- 煙突部材または暖炉の白熱
- ゴウゴウ、ガンガンと言う騒音
- 金属部分の曲がり・そり
- 煙突火災

## 8. 煙突火災

### 警告！

煙突火災は皆様の煙突システムに永久的な損害を与えることがあります。損害を受けた部品の交換と適切修理をしなければ構造火災を引き起こすことがあります。

## 警 告

表面は熱くなっています。

操作中と冷却中は、ガラス面と本体表面が熱くなっている。

熱いガラスは火傷を引き起こします。

- 冷却するまでガラスに触れないでください。
- 絶対に子供にガラスに触れさせないでください。
- 子供を暖炉に近づけないでください。
- 暖炉のある部屋では、子供に注意してください。
- 子供と大人に高温の危険性に注意を促してください。

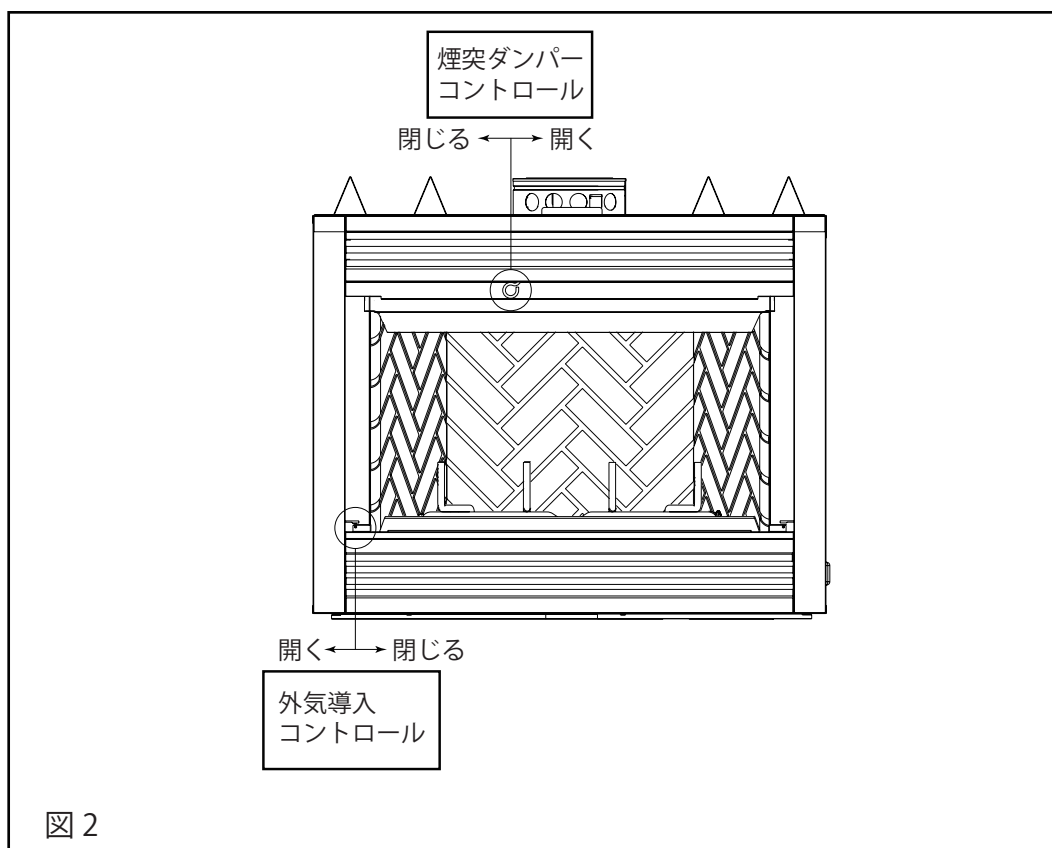
高温によって、衣服または他の可燃物に着火する恐れがあります。

衣服、家具、カーテンや可燃物などを近づけないでください。

## 操作部の概要

### 警告！

取扱説明書を読んで、理解する前に暖炉を操作しないでください。取扱説明書の記載に従って暖炉を操作しなければ、火災または負傷を引き起こす恐れがあります。



### 1. 煙道ダンパー

煙道ダンパーは全開の位置になければなりません（暖炉の操作中は完全に右側に動かしてください）。

薪に着火する前に、暖炉の内側から上を見て完全に全開の位置になっているのを確かめてください。

### 2. 外気

図2を参照して外気コントロールの位置と操作を確認してください。

外気キットは、暖炉に燃焼空気を供給します。ハンドルを左に動かして開いてください。室内の負圧の影響を減らすことができます。

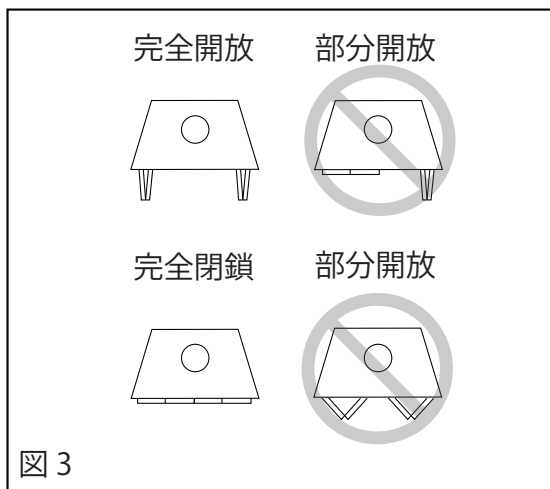
暖炉を使用していない時には、冷たい通気を防ぐため、空気の導入口を閉じます。導入口を閉じるには、ハンドルを右側に動かします。

#### 注意！

外気コントロールのハンドルが温かくなっていることがあります。点火の前に調整してください。

### 3. ガラスドア

- ガラスドアはオプション品です。
- 正しい使用方法については、図3を参照してください。



## 1 燃料

### 警告！

無垢の木質固形燃料だけを使用すること。他の燃料を使用するとオーバーファイヤーが起こり、有毒ガス（一酸化炭素等）を発生させる可能性があります。

### 警告！

●水分量の多い薪または乾燥していない薪を使用しないでください。

●未乾燥の薪を燃焼すると、クレオソートの蓄積を引き起こす恐れがあります。

### 1. 広葉樹と針葉樹の違い

暖炉の性能は、使用する薪の質によって決まります。エネルギー含有量の観点からは、ある樹種が他のものと大きく違っているということはありません。すべての乾燥材にはポンド当たり 8,000 BTU の熱量が含まれています。硬材（広葉樹材）は軟材（針葉樹材）よりも高い密度があり、硬材 1 個は同じサイズの軟材よりも約 60% 高い BTU を含んでいます。大部分の軟材は針葉樹です。針葉樹は 1 年中、緑のままの針状の葉を持つ木で、種は松かさの中に裸で入っています。針葉樹の例は、ダグラスファー、松、エゾマツ（スプルース）およびシーダー（ヒマラヤスギ）です。軟材は多孔質で、乾燥に時間がかからず、速く燃え、硬材よりも着火が容易です。硬材は落葉樹で、秋に葉が落ちる広葉樹です。落葉樹の例は、オーク、メイプル（カエデ）、リンゴそしてカバ（カバノキ）です。しかしポプラ、アスペン（ハコヤナギ）そしてハンノキといった確かに硬材とは言えない落葉樹があることに注意すべきです。硬材は乾燥に時間がかかり、ゆっくりと燃え、通常、軟材よりも着火が困難です。お住まいの地域で、最も容易に入手できる樹種をお使いになりますが、可能であれば、最良の段取りは軟材と硬材を組み合わせたものを使用することです。このやり方で、着火時に軟材を使用して急速に熱を出して暖炉の熱を操作温度まで高めることができます。それから硬材を追加して、ゆっくりとした均等な熱とより長い燃焼時間を得ることができます。

### 2. 含水量

暖炉のオーナーが経験する問題の大部分は、生乾きの薪を燃やそうとすることによって引き起こされます。切ったばかり木材は、木と同程度の約 50% の水分を含んでいることがあります。完全に乾燥させる時間が必要です。

生乾きの薪を燃やすと、内部に閉じ込められた水分を蒸発させるのに熱の形態をとったエネルギーを必要とするので、熱出力が小さくなります。このことは、住宅の暖房に使用されるべきエネルギーの浪費に繋がります。この水分は蒸気の形態で蒸発し、火室と煙突システムの冷却効果をもたらします。薪の燃焼から生成されるタールと他の有機蒸気が結びつくと、比較的冷えた火室と煙突内部に凝結するクレオソートを作り出します。

薪を燃やすのに十分な乾燥度があるかどうかを見分けるには、薪の両端（木口）を見ます。割れ目とその中心部から全方向に放射状に広がっていれば、乾燥しています。もし薪が火の中でジュージュウという音を立てるならば、表面が乾燥していても、中心部まで十分に乾燥していない可能性があります。

---

### 3. 乾燥

乾燥した薪は、一定の寸法にカットされ、割られて約 20%の水分含量(含水率)に乾燥させた薪のことです。薪の乾燥に要する時間は、軟材に対する約 9 カ月から硬材に対する約 18 カ月の長さまで異なります。薪の乾燥の秘訣は、まず割られて、濡れた内部が外気に触れ、その 1 つ 1 つの乾燥した表面積を増大させることです。1 年前に伐採され、まだ割られていない木には、伐採された時と殆ど同じ高い含水率があります。

#### 薪の乾燥には

- ログを一定の寸法にカットします。
- 15cm またはそれ以下に割ります。
- 約 20%の含水量に乾燥させます。
  - 軟材 約 9 カ月以上
  - 硬材 約 11 カ月以上

乾燥時間は乾燥条件によって変わることがあります。

### 4. 薪の保管

- 通気性を考慮して薪を積み上げてください。
- 空気の循環を可能にするため、薪は地面から持ち上げてください。
- 薪のカットが小さくなるほど、乾燥時間が早くなります。
- 薪は側面よりも左右の切断面を通じて乾燥が促進されるので、一個ずつの両端部が空気に晒されるように積みます。
- 囲いをしない薪は雨水や雪解け水を吸収することがあり、乾燥過程を遅らせるので、小屋の中に置くか、防水シート、ビニールシート、ベニヤ板端などをかぶせるなどをして雨雪から守ります。両端部を完全に覆うのは避けてください。これらの部分を完全に覆うと、地面からの湿気を閉じ込め、空気の循環を妨げることがあります。

### 5. 燃焼過程

火には燃料と空気と熱が必要です。乾燥段階の間に暖炉から熱が奪われるならば、新しくくべた薪はよいクリーン燃焼の機会を減らしてしまいます。常に乾燥した薪を燃やしてください。

### 6. クレオソートの形成

薪のゆっくりした燃焼は、クレオソートを形成し、排出された湿気と結合してタールと有機性蒸気を作り出します。クレオソートの蒸気は、煙突内の冷えた箇所に着します。その結果、クレオソートが煙道の内面に蓄積します。

クレオソートに着火すると、煙突に損害を与える可能性があります。住宅火災に繋がる恐れがあります。

煙突はシーズン前に少なくとも年に 1 度、シーズン中は 2 カ月に 1 度点検する必要があります。煙突火災の危険を減らすために、クレオソートが蓄積している時には取り除く必要があります。



## ■ 初めての着火

暖炉に初めて火を入れる前に、以下の点を確認してください。

- 耐火レンガが所定の場所にある。
- ラベル類を全部剥がしてある。

## ■ 着火の手引き

### 通告！

煙の室内への逆流を防ぐため、よい通風を確立する必要があります。

最初の3～4回の火は、オイルと結合剤を燃やして暖炉から取り除き、耐火レンガと塗料を養生するため、適度な大きさでなければなりません。最初の数回の火では、オイル臭がしますが、使用を重ねるごとに、臭いは消えていきます。

- 煙道ダンパーを全開の位置まで開いてください。
- 暖炉のグレートの下に、ねじった新聞紙を置いてください。
- グレートの上部に、たきつけ（細い薪）を井桁に組みます。
- 焚き始めに煙の漏れを減らす役割を果たす通風を確保するために、煙道を前もって温めてください。暫くの間、煙道ダンパーの下に丸めて火をつけた新聞紙入れてください。
- たきつけに着火するため、新聞紙に火をつけてください。
- 残り火の熱い火床が確立されるまで、小さな木片を少し加えてください。
- 3本程の薪を追加して、火とその周囲の燃焼空気を確保します。

### 警告！

可燃物、ガソリンおよび可燃性（引火性）液体を暖炉に近づけないでください。

### 禁止している行為

- 可燃物を暖炉の近くに保管すること
- 着火や火を勢いづけるために、ガソリン、ランタン用燃料、灯油、木炭点火用液体または同種の液体を使用すること

## Ⅰ メンテナンス

### 警告！

操作中および冷却中はガラス面と他の表面が熱くなっています。常温になるまで暖炉を掃除しないでください。

取り付けと修理は販売店が行います。暖炉はプロのサービスマンによる使用前点検および少なくとも年に一度の点検を受けることをおすすめします。

点検：

- ドア、サラウンド(縁取り)およびフロントの状態
- ガラスとガラスアッセンブリーの状態  
燃焼空気と循環空気の障害物
- ターミネーション(先端)キャップの障害物

掃除：

- ガラス
- 空気の通路、金属格子

### A. 煙突の点検

回数：必要に応じてですが、少なくとも暖炉を焚く前に年に一度または暖房シーズン中に2カ月に一度行います。

- ターミネーションキャップが綺麗で、障害物がないことを確認します。
- 鳥の巣や木の葉などによる詰まりがないかを点検します。
- 腐食部またはヒビがないかを点検します。
- クレオソートの付着がないかを点検し、暖房シーズン中は、必要に応じて2カ月に一度取り除きます。
- 暖炉の煙突と煙突トップの接続システムを点検します。

### B. クレオソートの掃除

回数：必要に応じてですが、少なくとも暖炉を焚く前に年に一度または暖房シーズン中に2カ月に一度行います。クレオソートが蓄積している時には、煙突火災の危険を減らすために取り除く必要があります。

必要なツール：ブラシ、アレンレンチ、プラスドライバー

- 薪をゆっくりと燃やすとタールと他の有機蒸気が作り出されますが、それらが追い出された湿気と結合してクレオソートを形成します。クレオソートの蒸気は火がゆっくり燃え、比較的冷たい煙道の中で凝縮します。その結果、クレオソートの残留物が煙道の裏地に蓄積します。薪に着火した時に、このクレオソートは非常に大きな炎を作り出します。
- 火室から灰を全部取り除き、それを処分する前に熱い燃えさしを全部消してください。暖炉を完全に冷却させてください。
- ドアをしっかりと閉めてください。
- キャップと煙突の掃除のために、図4に示したように、ターミネーションキャップのトップを取り除いてください。
- クレオソートまたはススは、使用されている特定の煙突のサイズに合うようにデザインされたブラシで取り除きます。
- ターミネーションキャップを再び取り付けてください。
- 火室から落ちたごみを掃除してください。

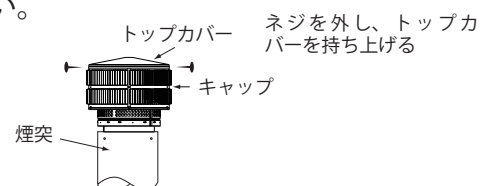


図4

## C. グレート

回数：灰の取り除き毎に使用者が行います。

点検項目：

- 38mm 以上の反りまたはたるみがあるかどうか
- 溶接の破断箇所
- グレートの格子の焼き付き

## D. ガラスの清掃

回数：必要に応じて住宅所有者が行います。

必要なツール：酢またはガラスクリーナー、柔らかいタオル

- ガラスは専用のガラスクリーナーで清掃してください。

## E. 灰の除去

回数：必要に応じて使用者が行います。

必要なツール：蓋付きの金属容器、金属シャベル、ほうき

### 警告！

火が消えて、暖炉が冷えるまで灰を取り除かないでください。

- 灰はぴったり閉まる蓋付きの金属容器に収納します。
- 蓋をした灰の容器は、最終処分までの間、全ての可燃物から離れた非可燃性の床または地面に置します。
- 灰は条例に従って処分します。

## F. 耐火レンガ

回数：灰を取り除く毎にその状態を点検します。

- 耐火レンガの状態を点検します。もろくなっていたり、それ以外にも劣化が見られたり、割れ目が6mmを超えていれば、交換してください。

## ■ トラブルシューティング

着火の問題	可能な原因	解決法
着火できない	たきつけ・紙の量が十分ではない	乾燥したたきつけを使うか、紙の量を増やす。空気の移動を促すためにたきつけと薪の準備をする
過度の煙	ダンパーが閉じているか全開になっていない	ダンパーを開く
燃烧が極端に遅いくすぶり、ジュージューと言う音	着火のための空気量が十分ではない	キャップ・カバーを点検 エアキットを開く 煙道の詰まりの点検 着火前に煙道を温める 適切な煙突の高さのチェック 風の方に向いている暖炉の下方の窓を開ける
	薪が濡れすぎか大き過ぎる状態の時	良く乾燥した薪を使用すること
	ターミネーションチップの中の鳥の巣または木の葉と言ったような煙道の詰まり	取り除く
	下向き通風(吹きこみ)または陰圧の排気装置との競合	起動中に排気ファンを使わないこと 風の方に向いている暖炉の下方の窓を開ける
火の燃烧が早すぎる	薪が極度に乾燥しているか 針葉樹材が使われている 火の上部の通風	広葉樹材に混ぜる 火が付いた後で乾燥度の低い薪に混ぜる 正しい通気口の高さの点検： 高すぎる鉛直高さが通風を作り出す 通気口端末の位置の点検





帯広本社 〒080-0010 北海道帯広市大通南 28 丁目 4  
TEL 0155-24-6085 FAX 0155-26-0506

 **0120-700-027**

 **info@dutchwest.co.jp**